

(2) ふり返り

S4: キーワード	テーマ、批判的的思考力、出典引用、問い、仮説、 直接取材、見出し、質問対象、聞き上手、整理、豊か さ、文意、ゴール
S5: 新たに 知ったこと	・ 質問対象は3つほどにしほつて質問対象の存在として 増幅すること。 ・ 替否がつかれるテーマを考察しやぶること。 ・ 市民生活に関わるテーマは関心の高いこと。
S6: 疑問	直接見る以外に本当に信頼できる情報はあつたか?
ふりかえり	記事を書くときは採必要な言葉を集め書け出前 に話を整理して、一つの段落に一つのテーマを意識する。 ・ 取材対象の客観的状況把握し、身又取材対象 問題点と改善点を示す。 ・ 見出しの位置を意識する。

S4: キーワード	5W1H、段落、段落差
S5: 新たに 知ったこと	5W1Hが大切、段落をあげない、同じ言語は 同じ段落
S6: 疑問	めもを早くとりにはどうすればいいか?
ふりかえり	新聞を数よんで「三つのパートなど書くとき のルールなど」が「学んで勉強になった。

(2) ふり返り

S4: キーワード	見出し、テーマ、逆三角形、一覧性 インタビュー
S5: 新たに 知ったこと	<del>新</del> フェルドワーグでしれたことには、 生の声をいれ <sup>た</sup> る。
S6: 疑問	フェルドワーグではどれくらい下調べすれば いいのか。
ふりかえり	フェルドワーグのエッセンス: 直接 <del>採</del> 取材してわかること も多 <sup>い</sup> 。細部までメモる アンケートのヒント = 質問内容を明確にする 逆三角 = 結論からはいって <del>明</del> 説明すること

<p>S4: キーワード</p>	<p>-批判的思考力 -他者の知的所有権保守・仮説          ・インタビュー ・アンケート ・フィールドワーク 客観的状況          ・問題点 ・改善点 ・5W1H ・テーマ ・キーワード          ・Xリハイ・バランス</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>-どうやって記者の人達が、あんなに短い時間で          記事を書きあげているのか、ということ。          ・インタビューをするときのコツについて、</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>・相手が質問に答えられなかったときの対処法は?          ・文字の大きさはどのくらい?          入          ポスター、新聞などにかくときの</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>新聞のかき方から、インタビューのしかたまで詳しく教えて          いただいたため、とても分かりやすく、参考にしやすかった。いざ、          新聞やポスターをかき、とな、でもかき内容やレイアウトに          困ってしまうが、今回習ったことやもらった資料を再度確認す          ればやりやすさか格段に上がると思う。科学での「元素新          聞やもうすぐ行うフィールドワークで今回得た知識を十分に発          揮したい。</p>

(2) 振り返り

S4: キーワード	批判的思考力、現場主義、トップ・ヘリ、逆三角形、SWIH.
S5: 新たに 知ったこと	・「批判的思考力」がどんなテーマであっても絶対必要な。 ・フィールドワークでは不調へ対処はよくないこと。 ・「トップ」が大きい記事、ヘリが大きい記事になるようにすること。
S6: 疑問	・「批判的思考力」を身につけたいは普段からどのようなことに気をつけたいか ・インタビューで相手の答えを聞いて、新しい質問を考えることはどのようにすればできるようになるのか
ふりかえり	テーマを語る、フィールドワーク、アニメ、インタビュー記事を書く時の具体的な方法も、コツを教えるも教えてとても良かった。特にレイアウトのポイント（トップが大きい見えるよう、見出しは関心を引くもの、大きめ見出しを上の方に、など）は、ポスターを作る上で大変参考になるものばかりだった。これからポスターを作ったり、記事を書いたりするときは、これらのことを思い出しながら作ってみたい。

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>レイアウト                      インタビュー                      見出し FW      テーマ                      アート                      ポイント</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>情報をしるには批判的思考が大事だとわかった。レイアウトのポイントはメリハリ・バランスのある紙面を心がけるとよいと知った。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>人の目まわく画像や写真はどのふうなものかなぜ横に細い線があるとよみやすいのか</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>新聞のレイアウトが下手でいつもまとめるときまごちゃりしてしまい、レイアウトの話はとても参考になった。メモをとりながら集中して話をきくことができた。今回の話を参考に次の新聞をうまくまとめたと思った。</p>

(2) 振り返り

S4: キーワード	5W1H ... When, Where, Who, What, Why, How 批判的思考力
S5: 新たに 知ったこと	・賛否が分かれている → 考察しやすい ・市民生活に関わる → 関心(高) ・下調べしすぎる → X ・段どりを決めすぎない
S6: 疑問	・しゃべりすぎるのはダメとおっしゃっていたが、 しゃべりすぎるとはどのくらいなのか ・変化をきくと何がいいのかわかるのか
ふりかえり	下調べしすぎたり 段どりを決めすぎるのはやめた方がよいと聞いておどろいた。 「人間を書く」のが記者の醍醐味という言葉がいいなと思った。 <u>インタビューを楽しむ</u> 教えてもらったことを生かして、フィールドワークなどに取りくんできていこうと思う。

(2) ふり返り

S4: キーワード	SWIH
S5: 新たに 知ったこと	新聞の作り方
S6: 疑問	取材をうけてもらいやすくなるにはどうすれば よいか。
ふりかえり	これまで知らなかった、取材の基本、ポスター の作り方を学べてよかったです。これをい かしていきたいと思います。



(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>5W1H、相対リズム 賛否が分る相対、市民生活の相対</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>批判的、思考力が絶対必要</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>たとえ事をしていくにはどんな時何を思いのこらえをしたか?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>新しいニュースが事前に飛び込んで大丈夫な様子は常に準備している所が面白い。 インタビューは新聞時のようにあつて具体的な事、よくどうが話して 相対のことや分るはいいことかたまたまにしたい</p>

(2) 振り返り

S4: キーワード	一段落にテーマ、ネットワーク、アクト <del>誤差</del> 見出し、関心を引く10文字 細いことばも、テーマ設定、具体的な問い
S5: 新たに 知ったこと	性別も、年齢、職業なども明確化に アンケートとどう関係しているかは ここでは現場主義で下言調での話しは 先入見になるためだけ
S6: 疑問	取材と世帯に、インタビューも 記しがら引用するのでは「おまのめ」
ふりかえり	マサさんはくわい色々なことと教 えられたのでかかやかたに。 新聞と著者の因果にならた。 長かすたまたまたりする情報と教 えられたという流れは計二

S4: キーワード	賛否が分かるテーマが考察しやすい
S5: 新たに 知ったこと	フィールドワークをするときは 下調べしすぎない
S6: 疑問	調べやすい、仮説の書き方などあるのか
ふりかえり	今回、三好さんの話を聞いて 私は研究したいことはあるけど、 どう効率よく、またみんなが負担なくなるように できるのか分からなかったため良かったです。 今後ともこれを活用していけたらと思います。




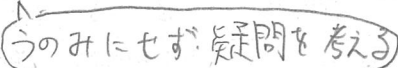


(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>賛否が分かれるテーマ 市民生活に関わるテーマ 問い=原因?本当?影響? ↳反響を考える 見出しは関心を引く SWIH ターゲットの質問内容を明確化にする。 ↳フィールドワーク ↳現場主義、糸田都をメモ!</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>インタビューのときはしっかりと下調べをして、変なことをつかないようにする。段取りを決めおきると相手がこまるので、相手のペースで行うことが大切だと知りました。また、新聞もかくときは、たぐさんの工夫があっていきあがっているのだと知りました。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>見出しは、どのようにして読者の関心を引くことができるものになるのか。</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>私は、ホプスターがインタビューのときなど、まったく何も知らなかった。しかし、今回三好さんの話を聞いて、テーマを「賛否が分かれる、市民生活に関わるもの」と関心を引くことや、インタビューのときはしっかりと下調べをする、レイアウトのポイントでも役に立つことを考えたり、とてもありがたいと思った。今回の話を今後のKPの活動にも活かしていきたいと思った。特に印象に残ったのは、「記事を書くときの基本技で、まず必要な言葉を集め、書き出し前の話を糸目み立てる」ということで、レポートや記事を書くときに糸目み立て、整理することはやはり大切なことだと思っただけで、そこから気を付けようと思った。また、フィールドワークからはなれないうちに「テーマから目はなせないう」ということが大切だと知ることにはしっかりと頭に入れておきたいと思う。 今後このような講演会があったら、今回のように話をしっかりと聞いて、役立たせたい。</p>

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・シリアウトのポイント</li><li>・記事</li><li>・テーマ → 問い</li><li>・SWITH</li><li>・インタビュー</li></ul>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・新聞作りの時のシリアウトの仕方 (インに写真をおき、見出しは記事=付け(等))</li><li>・記事を書く時は客観的思想重よる</li></ul>
<p>S6: 疑問</p>	<p>新聞作りには何人かの人と協力して の時間がかかっているのか</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>私の家ではふたんから新聞をとっていること とても興味深かった。私自身も よみかえりと思えました</p>

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>インタビュー・アンケート・フィールドワーク 下調べ  大切</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>アンケート  年齢・性別などにかいておくより深いものになる テーマの設定  「批判的思考力」が絶対必要!!  うのみにせず疑問を考える</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>もう提出期限ギリギリになったときに、 全然話題が思いつかない時はどうしますか?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>テーマ設定・フィールドワーク・アンケート・インタビューにおいて必要なポイントがどれも KP などの参考になりそうなものばかりだった。 新聞の書き方のコツがおもしろかった。   下調べをすることで相手に嫌な思いをさせることはなく、気遣うことにつながるということを知って大切なことだと思った。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	質問・疑問・情報・下言同バ
S5: 新たに 知ったこと	インタビューをする時には、段取りを決めます。事前に考える質問は るっほとにすること
S6: 疑問	情報を集める時には現場に行くのが一番だが、一人で現場まで 行けない場合どうしたら良いのだろうか。
ふりかえり	どんな情報でも、まず一度疑ってみて、根拠があるのか、本当に正しいのかを 調べることは重要だと思った。アンケートをとる時やインタビューをしに行く時は どのような情報が必要になるのか分からないので、細かいところまで記録するよう しようと思った。見出しや写真に興味をもつようために、工夫をして新聞や雑誌 を作っていることを知った。インタビューの相手のリズムは合わせる、聞き上手になる、 などは友達と会話している時と同じような感じだと思った。

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力 5W1H</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>市民生活に関するテーマが書きやすいということ 同じ話題は同じ段落</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>メモをみかえりするのはどうすればいいか。</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>批判的思考力以外の必要性を学ぶ</p>




(2) ふり返り

S4: キーワード	批判的思考力
S5: 新たに 知ったこと	インタビューのときは、相手時間、質問数はと さん
S6: 疑問	インタビューするときには「おまかせレポート」 写真をとっていいか
ふりかえり	と質問のときは、おまかせレポート インタビューのときは、おまかせレポート、 おまかせレポート

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>イリタレの仕方</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>持たせられた方の仕方は?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>今回はとても大切なことを知ることができた。</p>

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>テーマを決定 (興味関心のあること) どんなテーマであつても 「批判的思考」 「協働」が大事ではない。</p>	<p>替否がわかる。市民生活 に関係のあるテーマが フィールドワークは、現場主義 で調べすぎない。 質問の明確さ。</p>	<p>質問は具体的に書く 変化をなく、比較をき く質問にし段取りを さめすぎない。</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>逆三角形  結論 詳細</p>	<p>素材が質問をやる。 新聞はおさしと文章 を途中で切り交ぜ がりをわかりやすくして 細部をメモする。</p>	<p>た調べすぎはよくない。 インタビューは相手の反応を 持ち。 締め切り間際まで最新的情 報をゆきこむが、</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>なぜ市民生活に関わるテーマの方がよいのか。 取材に行ったときの写真は人物と場合動きあわが写 を撮るのが良いが人物ではない写真の動きはどう 表現するのか。</p>		
<p>ふりかえり</p>	<p>今まではインタビューやアンケートやフィールドワークにはどうい うことをすればいいのかわからなかったが今回の講演で どうすればいいのかわかるとかできよかった。インタビューで 自分で先入観をくつたり段取りを決めすぎないことが大切を知 りよくなった。新聞は見出しや配置がとても重要 だと知り、家にある新聞を参考にしたかった。</p>		

(2) ふり返り

S4: キーワード	SW 1H への段落12への予マ
S5: 新たに 知ったこと	取材対象の客観的状況把握 取材対象の問題点とカリゼン点を示す
S6: 疑問	下調べが足りないこと以外事以外、知ろなく 2もいけなうと思ふ
ふりかえり	これまでこのこと外は外、外のこと外外、 新しいことを知れたこのことを元 <sup>点</sup> 新聞+KPに生かしていったこと

(2) 振り返り

S4: キーワード	記事を書くとき⇒話をあつめる→くみわたせる 1つの段落1つのテーマ 5W1H→When, Where, who, what, why, How / テーマ→どのおも批判的 <sup>的</sup> 思考 現場主義、アンケート、世論調査うのみ×敬意
S5: 新たに 知ったこと	・ゆにどのテーマでも批判的 <sup>的</sup> 思考をもつ。 ・現場主義が大切、とい深めること→フラッシュアップ 1つの段落には1つのテーマしかかいてはいけない ・だいたいどのニュースにも5W1Hは存在している
S6: 疑問	テーマに対する批判的 <sup>的</sup> 思考はできるだけ多く出した方がいいのか! 現場主義とあつたが、現場に行けないような場合は最善なのはどのような手法か。
ふりかえり	先日はお忙しい中大変貴重なお時間をいただきありがとうございます。僕は今までゴツや工夫は分からないままレポートなどを書いていました。たが、今回のお話をきいて数々のゴツや大切なことがかか、て目からウロコでした。これからはこれらのことをしっかり意識しながら分かりやすいポスト-をかいていこうと思います。今回はありがとうございます!

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>5W1H (When, Where, Who, What, Why, How) 仮説 事実に意見情報 引用 テマ→問い 出典 盗作とみなされないように 批判的思考力 問題点 改善点 自己意見との区別 コピペ厳禁 段落</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>テマを記定し、具体的な「問い」を決める          ・賛否が分かれるテマが考察しやすい。          ・市民生活に関わるテマは関心が高い          ・問い=原因は？それは本当か？影響は？</p> <p>記事を書く          必要な話を集める          書き出前に組み立て          1つの段落に1つのテマ          ※同じ話題は同じ段落に          ※テマが重複しない。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>三好さんは「質問は多すぎないかに3つぐらいにしよう」とおっしゃっていた。          ⇒何か大きな出来事取材の際には疑問や物知りを知りたいことがたくさん生まれるか？          どうやって3つにしようのだろう。少ない質問で多くの事を知るにはどうすればよいのだろう。</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>今回は神戸新聞社の三好さんに話を聞くという貴重な体験をした。          テマを記定し、具体的な「問い」を決めるというのは前からなんとなくは知っていたが、今回のお話でより理解を深めることができたように思う。          また、三好さんは「実際に現地へ向かうフィールドワークが大切」とおっしゃっていた。来週の金曜日にはフィールドワークがあるため、今回のお話を思い出しながら、様々な事を学んで持ち帰ることができよう、努めた。</p>

(2) 振り返り

S4: キーワード	5W1H. when, where, who, what, How 批判的思考、逆三角形
S5: 新たに 知ったこと	・横書き、たて書きは必要に応じてかえる ・下(左)の"たて書き"は洋書! ・
S6: 疑問	はじめに"かわいい"ことを書くのはなぜか? 写真が"ない"とどうなるのか。 "言えない"ことを書くとはどうなるのか
ふりかえり	今週のセミナー・ワークでもみゆしさんから 聞いたことをいかにしていこうか、思います。 とくに逆三角形を使うこと、インパクト-術 を使うことを意識したいです。 また問題の原因についても深く追求してい たいです。

(2) ふり返り

S4: キーワード	テーマ 課題 段落 新聞 写真 インタビュー エポ 5W1H いつ どこ 前文見出し たねが 何を 誰が どのように
S5: 新たに 知ったこと	記事を(め切りの5分前)に読んでもある。 オリンピックの結果などはまた変えられるように工夫し 書く。インタビューの時の音と後で聞き返すとはほぼ どない。 「下調べをやる
S6: 疑問	インタビューに行く人はどのように決まるのか
ふりかえり	神戸新聞では古い新聞をいって読んでいるが書き方の技術 は他の新聞社とも同じなんだと思った。多少読みにくくなっ ても読み間違えないように中途半端な部分を区切るのは 意外だった。いろいろな人にインタビューをしたからなのか、 話す時に落着いていると感じた。



(2) 振り返り

S4: キーワード	テーマ批判的思考力 出典引用、 問い仮説 直接取材見出し
S5: 新たに 知ったこと	◦ 親生活に関わるテーマは関心が高いこと。 ◦ 賛否が別か来るテーマが考察しやすい。
S6: 疑問	本当に信用できる情報はどこにあるか？
ふりかえり	「情報」というものの意外な奥深さを 知った。

(2) ふり返り

S4: キーワード	批判的思考力
S5: 新たに 知ったこと	ふ、だんからしていたけどこういう言葉を初めて知れた。たしかに本を読んでいてなんでかしいことも言っているのにこんな表現をするのだろうと思った。
S6: 疑問	様々な事例がからんできたりして複雑になった場合全てのことがらが重要に思えて要約がうまくできないはどうしよう?
ふりかえり	すごくデザインの点に着目して聞いていたのに納得できる部分が多く、知らないうちに利用していた事もなんで効果があるのかを知られて良かったです。三好さんの講義を聞いていていかに自分の小学校のときの新聞がよみにくかったかを感じもっと早くにお話をうかがいたかったなと思いました。

おくれこすいせん

(2) 振り返り

S4: キーワード	5W1H 「When Where Who What Why How」 客観的 問題点 改善点 批判的思考力 事実と意見 共感
S5: 新たに 知ったこと	新聞の記事は会議で決められる。 1字は12~13字くらい。 下調べしすぎない 質問をつくりすぎない 文は読みやすいように変なところ <sup>インタビューのとき</sup> で切れるときが大切。
S6: 疑問	インタビューの際、下調べをばきると具体的にた に「起こるのか。 ↑先入観にとられすぎるとど よい話題とは。 のような記事になるのか。
ふりかえり	新聞を作るために、制作者は大変な努力を している。 読者側への気づかりが感じられた。 ↳ とんど読まないう、あえて変なところを止め てけいせいする また、様々な工夫がされていることた おどろいた。

(2) ふり返り

S4: キーワード	批判的思考力、5w1H、比較。
S5: 新たに 知ったこと	賛否が分かれるテーマが考察しやすいこと。インタビューの事前に考える質問はろつくらいが適していること。レポートを書くには、うのみせず疑問をもったりする「批判的思考力」が絶対必要だということ。
S6: 疑問	テーマ・問いがうまく見つからないときにはどうすればよいか。インパクトのあるタイトルや見出しをつけるには。
ふりかえり	インタビュー術や、FW(フィールドワーク)の時に気をつけることを教えてもらったので、甲子園球場に行ったときに実践してみたい。「現場主義」が鉄則!! 記事を書くときの基本技を知り、今までの自分が深く思っていたことを文に表わせない原因が少し分かったのかもしれない。5w1H (When, Where, Who, What, Why, How) の基本を文章に取り入れることで、1回読むと内容が分かるような文になることを実感できたので、次から意識してみたいと思った。

<p>S4: キーワード</p>	<p>5W1H インタビュー - 術 批判的思考力が必要 取材対象の客観的状況を把握, 問題点と改善点を示す. 新聞 &gt; 1行(2~3字) A/Yに写真や絵をかか→引き出し</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>批判的思考力が絶対必要 新書などの内容を精査みにしない &lt;インタビュー - 術&gt; ①下調べが大事 ②段取りを決めおきたい ③事前に考えを練る ④アポイントメント ⑤具体的に話す ⑥変化 ⑦比較 ⑧相手の立場に ⑨知ったかぶりをしてない ⑩聞き上手 ⑪正確さ ⑫敬意・エール</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>どの記事が重要なかは、どうやって決めているのか。 見出しや、大事な事をどうやって目立たせるか。 (1目見下時)</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>記事を書くときは、必要の話を集め、書き出す前に 話を組み立て、一つの段落に一つのテーマを書く 調心 → 必要の話を集める → 話を組み立てる → 書く → トップと真ん中を目立たせて紙面化 取材対象の客観的状況を把握し、 取材対象に問題点と改善点を示す などの事を利用してこれから研究が活用 したい。</p>

<p>S4: キーワード</p>	<p>物事に疑問や批判的思考力をもつ。      フィールドワーク SWITH      知的所有権を守る      → 現場主義、先観X ↓ When, where, who, what, why, How</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>市民生活に関わることや賛否両論がわかるテーマ考察やすい フィールドワークの時は「現場主義」が鉄則。 アンケートの時の質問は「<u>2つほど</u>」 下調べのしすぎはX      中心となるテーマには キーワードが<del>多い</del></p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>ノートをとる時ゆかりやすぐとるようにはどうすべきか。 (新聞とまじ異なり)</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>今回新しく知ったことをいかにして取材を転時や今回の フィールドワークでは特に、下調べをほどよく行い、質問を しっかりできるように意識しようと思いました。 普段のノートをとる時も、今回まいた話を参考にして、 ゆかりやすぐは自分なりのノートを作れるように考えていこう と思いました。</p>

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>下調べ 問い インタビュ - アンケート</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>下調べは、現地調査の時に持ち帰るものばかり。 どんなテーマでも「批判的思考力」が大事</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>フィールドワークは、した時としない時とで、どう変わるのか!</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>今回の講演で、フィールドワークやアンケートの大事さや、物事を記事にする時のポイントが分かりました。新たに知れたことや、不思議なところもあって、おもしろかったです。</p>

(2) 振り返り

S4: キーワード	メリハリ・バランス
S5: 新たに 知ったこと	向きが違っても、 読みやすいこと。
S6: 疑問	写真がちらかっているにもかかわらず
ふりかえり	一般的なことを、こえて 専門的な知識まで、知るこた できるのは貴重なので、 活用していただきたい。



(2) ふり返り

S4: キーワード	テーマ、調べる(下調べ)
S5: 新たに 知ったこと	・構図について ・書きやすいテーマ ・相手の話をうまくきく方法
S6: 疑問	構図はどうやって考えているのだろう(慣れ?)
ふりかえり	三好さんに話をうかがいたくさんの新聞をかきコツを知れた。 今回きいた話をいかして、これからわかりやすい資料をつく っていきたいと思う。

(2) ふり返り

S4: キーワード	インタビュー - 大切
S5: 新たに 知ったこと	インタビューをすれば、質問も3つ用意
S6: 疑問	う、三女子さんが一番注目しているのは?
ふりかえり	ありがとうございました。 しほは、レポートや文章を書くのが苦手で、 そのため、今回おしえてもらったことをこれからもつか ていきたいと思っいます。 また、インタビューのしかたもわからなかったの で、今回おしえてくれたことつからて、またい と思っいます。

(2) 振り返り

S4: キーワード	批判的思考力 仮説 現場主義 5W1H (When, Where, Who, What, Why, How)
S5: 新たに 知ったこと	インタビュー術 1. 下調べ 2. 段とりを決めすぎない 3. 事前に考える質問は3つ 4. フォンとしていどお 5. 具体的に聞く 6. 変化について聞く 7. 比較して聞く 8. 相手のリズムに合わせる (相づち共感) 9. 知ったかぶりしない 素朴な質問をする 10. 聞き上手にしゃべりすぎない 11. 正確 豊土 敬意・エール
S6: 疑問	新聞で新しいニュースがはいっても、 すぐにニュースを書きかえることが できるほどの国語力を見につけるためには どうすればいいのか？
ふりかえり	ニュースの基本で、「5W1H」に ついて学び、1つでも欠けると 意味が分かりにくくということを 学んだ。 写真は原則、ヘリの部分につけて 横に細い線を引くと新聞が 見やすく、読めやすくなる。 テーマから文章を書いていくときは 目をはなさないということが大事だと 分かった。

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力、SWH、見出し→要約 有否、市民生活、原因、正しいのか、 影響、細部のXモ、事実と意見</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>逆三角形、</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>新聞の本文をけずる時、 どのような所から けずるのか、</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>レポートや新聞を書く時 フィールドワークでの インタビューの仕方、Xモの仕方を しっかり理解することができた、 FWでは、普段知ることのできない 細部を中心にXモをとり、 その後の学習に 役立たせた、</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	レイアウト、段落、テーマ、質問、5W1H、客観的、下調べ、
S5: 新たに 知ったこと	同じ話題は同じ段落に書くことで、前は色んなことバラバラになっていたりで、 これからは直そう。
S6: 疑問	新聞をつくる時のバランスでイラストを大きくした時と小さくした時の分かりやすさの ちがいを。
ふりかえり	5W1Hの、いつどこで、何を、—のことが色んな資料を使ってあらかじめ知る ことができたし、表紙や新聞をつくる時にバランスを大切にしたりレイアウトの順 番などをしっかり知ることができたので良かった。 また、ポスターにまとめる時にどうすれば注目をあびられるか(みんなに見たいと思われ るか)が前よりくわしく知れたので良かった。

(2) 振り返り

S4: キーワード	記事を書くときは、話を集める
S5: 新たに 知ったこと	SWIHがあり、それが実際のコースでも使われているということ 新聞記事では後からはいったニュースもかけるよう、先に結論を 書いておくこと。
S6: 疑問	かきたいところがありすぎて要約できないところはどうした方がいい のか？
ふりかえり	これからたくさん記事やレポートを書くことが増えると思うので、その時に今回学んだことをいかしてほしい。また新聞 を見る機会があったら、どこかSWIHにあてはまっている かというのを探してみたい。引用のコツも教えてもらった ので、引用を書くときもこのことをいかしてほしい。例えば、 お本から引用するときも、お本をまるまるうつすのではなく、少しか えてだしたり、少しけずってだしたりして、 <u>盗作</u> にならないよう にしたい。